

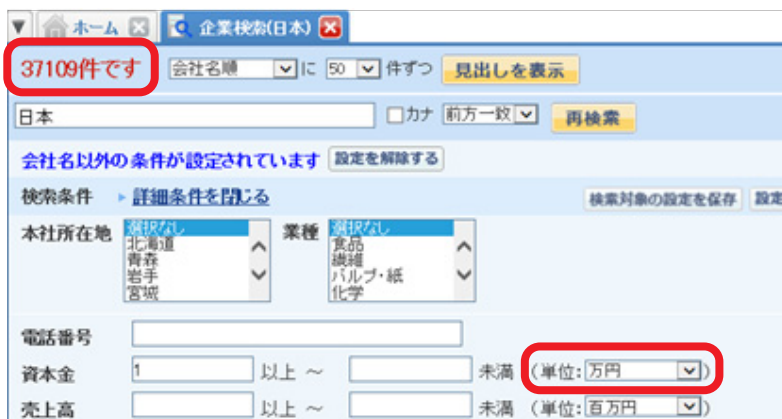
IE11特有の事象

2015年2月6日時点で判明している「IE11特有の事象」4点をお知らせいたします。

①「企業検索(一括)」画面でブラウザ「戻る」で、プルダウンの選択状態が初期状態に戻ってしまいます

例

1. 新規に企業検索(一括)画面を開く
2. キーワード「日本」と入力
3. 「詳細条件」を開き、資本金に「1」以上と入力し、単位を「万円」に切り替える(右上図)
4. 「検索」ボタンをクリック
5. 「見出しを表示」ボタンをクリック
6. 見出し一覧画面でブラウザの「戻る」をクリック(右中図)



現象

検索結果画面で資本金の単位のプルダウンの選択状態が「百万円」になり、検索条件とヒット件数が矛盾した状態になります(右下図)



②「企業検索」の「東洋経済大型小売店情報」画面でリストボックス内を変更後に検索条件の保存を行い、タブを閉じて再び同じ画面を開くと、リストボックスが初期値である最上段を表示します

例

1. 「東洋経済大型小売店情報」画面へ遷移
2. リストボックスの初期値でメニュー枠内に表示されていない項目、今回は「沖縄」を選択(右上図)
3. [検索対象の設定を保存]をクリック
4. 東洋経済大型小売店情報のタブを閉じ、再び「東洋経済大型小売店情報」画面へ遷移

現象

選択した「沖縄」が保存されていますが、リストボックスは最上段(初期値)が表示され、「沖縄」の箇所を表示しません。(右下図)



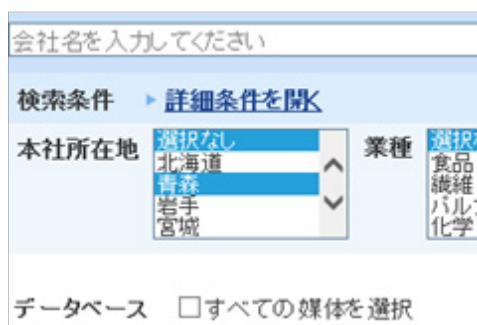
③「企業検索(一括)画面でブラウザ「戻る」ボタンで、マルチプルプルダウンの選択状態が変わります

例

1. 企業検索(一括)画面へ遷移
2. 本社所在地を「青森」に選択
3. 「検索」ボタンをクリック
4. 「見出しを表示」ボタンをクリック
5. 見出し一覧画面でブラウザの「戻る」ボタンをクリック

現象

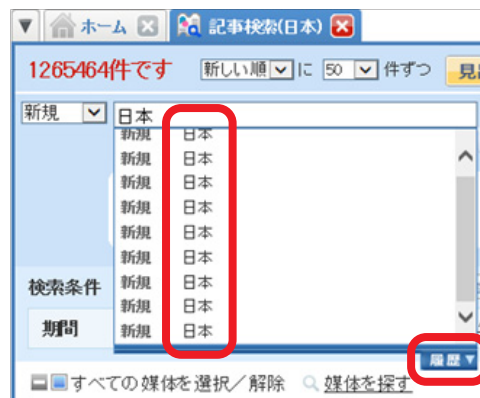
検索結果画面で本社所在地の選択状態が、「青森」だけではなく「選択なし」と「青森」の2つが選択された状態に変わります(右図)



④「記事検索」で「履歴」選択ポップアップが、ポップアップ以外の場所をクリックしても消えなくなります

例

1. 「記事検索」の画面へ遷移
2. 任意の文字(例:日本)を入力して検索
3. 履歴欄にスクロールバーが表示されるまで上記の「2.」を繰り返す
4. 「履歴」ボタンをクリック
5. マウスで(スクロールバーを操作して)スクロール位置を変更



現象

ポップアップ以外の場所をクリックしても、ポップアップが消えません、履歴中のどれかを選択するか、履歴のタブをクリックすると消えます(赤線の箇所をクリックするとポップアップが消えます。)

※別紙にてIE11の設定変更による「対応方法」があります。

以上